www.r-toolbox.jp

保存版

施工説明書

木製キッチンカウンター

toolbox

目次

安全上のご注意	1
バリエーション / 組み合わせ	2
付属部品	3
取り付け前の確認	4
キャビネットの施工	5
引出しの取り付け・取り外し・調整	7
開き扉の取り付け・取り外し・調整	8
取り付け後の確認【清掃・点検】	9

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。

警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

気を付けなければ
いけない注意事項

やってはいけない
注意事項

しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

2025.02

安全上のご注意

設置前にご確認ください

商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
設置後の損傷は保証対象外となります。

⚠ 警告

分解・改造はしない。
破損してケガをする恐れがあります。

移動等の際は２人以上でしっかりと持ち上げてください。
落下してケガをする恐れがあります。
※PP バンドを持って運ぶと商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがあるので充分に気をつけてください。

設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。
人体に影響が出たり、使用部材の損傷や老化の原因になります。

キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を載せたりしないでください。
落下してケガをする恐れがあります。

キャビネット・ワークトップを取り付ける際など、金属製品の切断面に手をかけるときは必ず保護手袋をしてください。
金属製品の切断面で、ケガをする恐れがあります。

本書指定位置（P.4）に取付用木下地（厚さ 30mm 以上、幅 90mm 以上）が取り付けられていることを確認してください。
木下地がしっかりと取り付けられていないと落下して、ケガをする恐れがあります。

必ず、商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。
落下してケガをする恐れがあります。

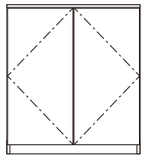
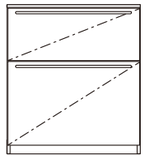
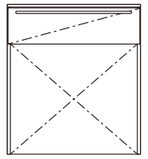
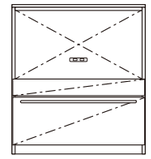
ネジ類で固定する際は、締めすぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して、回しにくくならないようにして下さい。
固定が不充分になり、落下してケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

取り付け完了後は、扉・引出しの傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。
調整後はゆるめたすべての扉の指定のネジを硬く締め付けてください。
※締め付けが不充分な場合は、使用中に扉が落下してケガをする恐れがあります。

棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。
棚板への差し込みが不充分な場合、棚板が落下してケガをする恐れがあります。

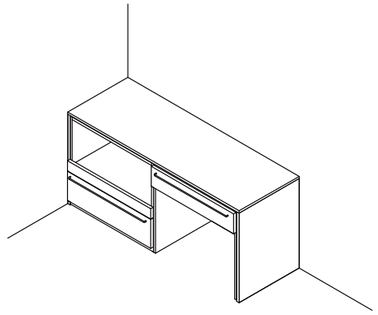
バリエーション

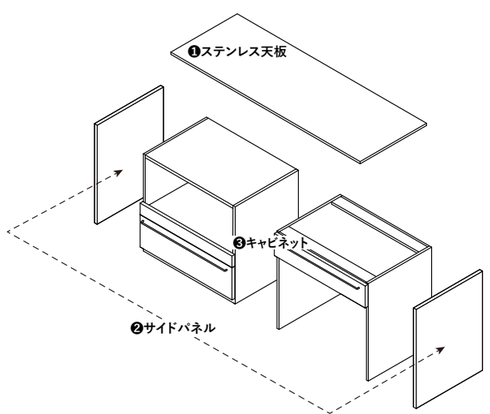
開き戸	引き出し	オープン	スライド
			
W600 / 750 / 900			

組み合わせ

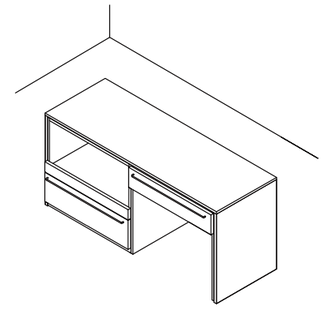
※ ステンレス天板･キャビネット･サイドパネル･バックパネルはそれぞれ別売りです。

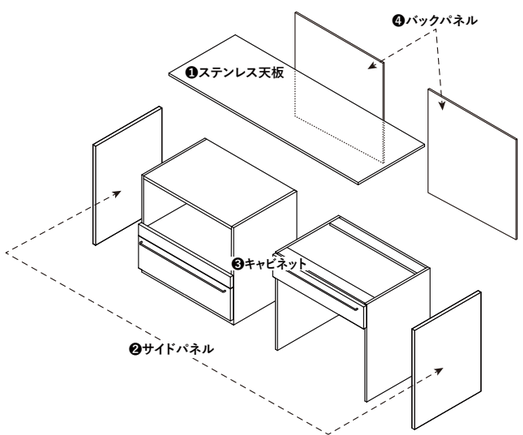
■ 壁付け型（バックパネル無し）





■ 対面型（バックパネル有り）





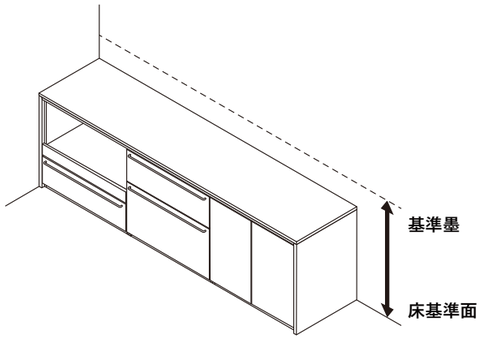
付属部品

	付属部品	開き戸 壁付け型	開き戸 対面型	引き出し 壁付け型	引き出し 対面型	オープン 壁付け型	オープン 対面型	スライド 壁付け型	スライド 対面型
ビス類	**天板固定用** コーススレッドビスL28	4	4	4	4	4	4	4	4
	サイドパネル固定用 コーススレッドビスL25	–	8	–	8	–	8	–	8
	壁固定用 コーススレッドビスL51	4	–	4	–	4	–	–	–
	壁固定用 スライド用 コーススレッドビスL90	–	–	–	–	–	–	4	–
	バックパネル固定用 コーススレッドビスL28	–	4	–	4	–	4	–	–
	バックパネル固定用 スライド用 コーススレッドビスL65	–	–	–	–	–	–	–	4
	ビスキャップ（黒）・ワッシャー	付属ビスの本数分							
その他	**フィラーA** T38角×H38角の隙間材	–	–	–	–	–	–	2	2
	フィラーB T15mm×H70mmの隙間材	2	–	2	–	2	–	2	–
	棚板 開き戸用	2	2	–	–	–	–	–	–
	棚板用ダボ 開き戸用	2セット	2セット	–	–	–	–	–	–
	家具用コンセント スライド用 1500W・1.5m（皿ビス2本付属）	–	–	–	–	–	–	1	1

キャビネット連結用ビス コーススレッドビスL28 （上記本数に追加で付属します）	キャビネット1連の時	キャビネット2連の時	キャビネット3連の時
	0本	4本	8本

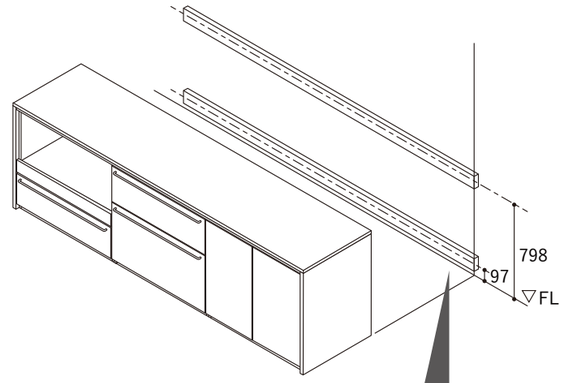
取り付け前の確認

■ 床レベルの計測



■ 下地位置の確認・各基準線の墨だし

床基準より、下記の位置に取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認して下さい。また、取り付け時の基準となる墨を出して下さい。

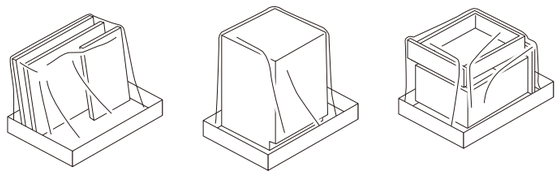


⚠ 警 告

取付用木下地（厚さ 30mm 以上、幅 90mm 以上）が、指定通りに施工されていることを確認してから取り付けてください。

取付用木下地（30mm×90mm 以上）がしっかりと取り付け垂れていないと、落下してケガをする恐れがあります。

■ 基本準備

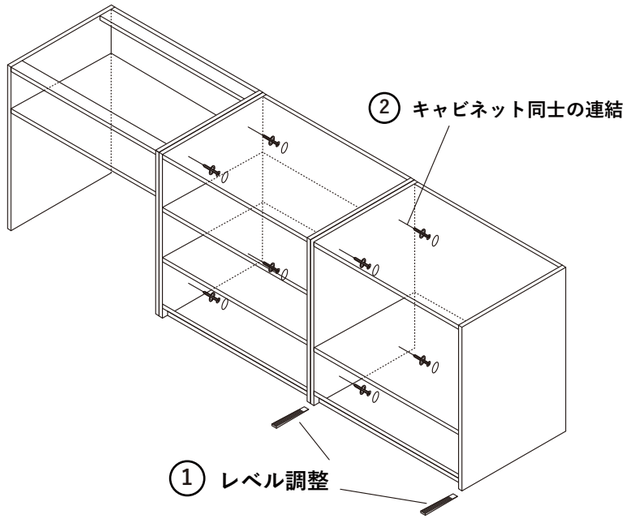


⚠ 注 意

扉・引き出しを外してください。

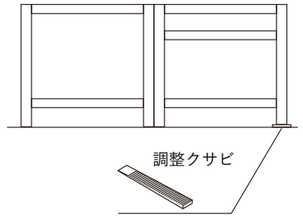
扉および引出しを傷つけないように、開梱後すぐに取り外してください。
養生方法は、左記の容量で段ボールを必ず敷いて保管してください。

キャビネットの施工



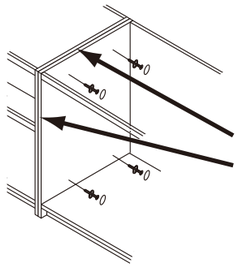
① レベル調整 重要

床に不陸がある場合は、キャビネット上面が水平になるように【調整クサビ（現地調達）】などで調整してください。



② キャビネット同士の連結

隣接するキャビネットは、前面・上面を面一に合わせて連結してください。
キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。



キャビネット連結ビス
コーススレッドビスL28

側板前面と側板上面が揃うように調整してください。

※ 他のキャビネットも同様に
各種ビスで固定してください。

■ 対面型

③ バックパネルの取り付け

キャビネット天面とサイドパネル表面にバックパネルが揃うように調整してください。
ベースキャビネットのガイド錐で下孔をあけ、取付ビスでパネルを取り付けてください。

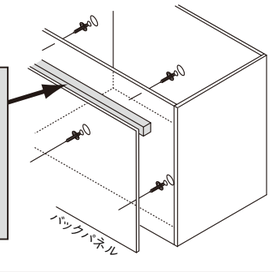
※ スライド以外のキャビネットの場合は、
フィラーなしのまま取り付けてください。

バックパネル固定用
コーススレッドビスL28

バックパネル固定用 スライド用
コーススレッドビスL65

スライドの場合

フィラーA
T38角×H38角の隙間材
コンセントの配線スペース確保用の隙間材です。

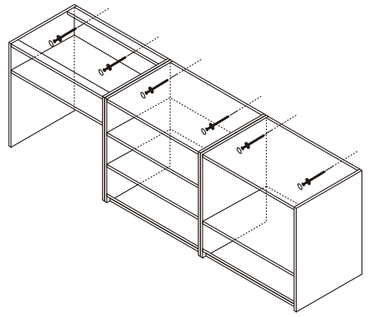


④ 固定

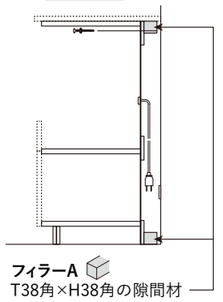
■ 壁付け型

背壁への固定

キャビネット後板のガイド錐で下孔をあけ、壁固定ビスで取り付けてください。

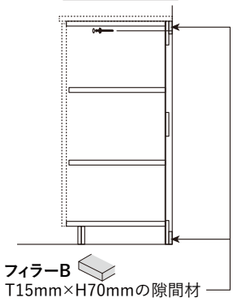


スライド



フィラーA
T38角×H38角の隙間材

スライド以外



フィラーB
T15mm×H70mmの隙間材

壁固定用 スライド用
コーススレッドビスL90

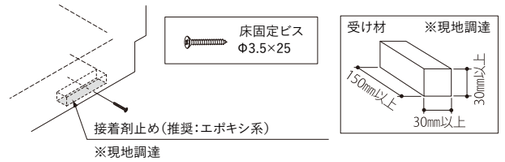
壁固定用
コーススレッドビスL51

■ 対面型

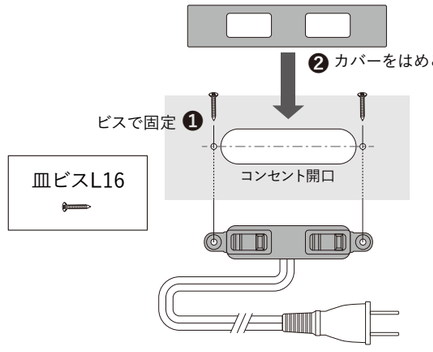
床への固定

サイドパネルおよびバックパネルを取り付けるキャビネットを床に固定してください。

● 床にネジ固定できない場合
受け材をネジ等で床に固定すると暖房用の床下設備等を傷つける恐れがある場合は、接着剤で固定してください。



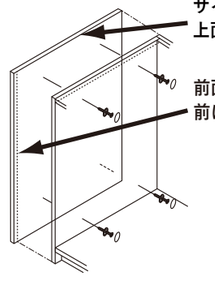
コンセントの設置 スライド用



皿ビスL16

⑤ サイドパネルの取り付け

左右キャビネットの外側に、側面のガイド錐で下孔をあけ、それぞれにサイドパネルを取り付けてください。



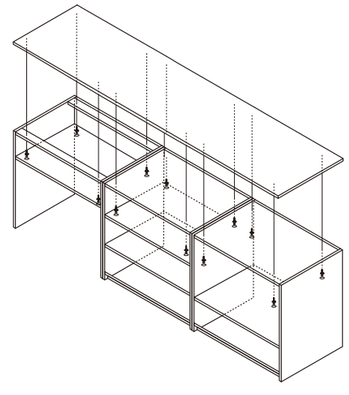
サイドパネルとキャビネットの側板は上面が揃うように調整してください。

前面は側板より 30mm 前に出るように取り付けてください。

サイドパネル固定用
コーススレッドビスL25

⑥ 天板の取り付け

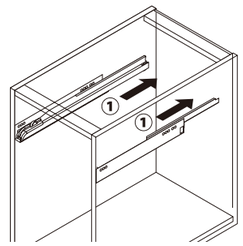
下図のように、各キャビネットの天板の裏面より固定ビスで天板を固定してください。

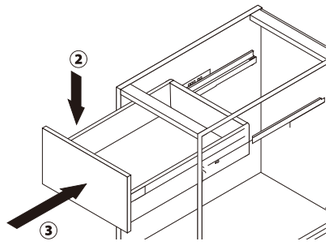


引出しの取り付け・取り外し・調整

■引出しの取り付け

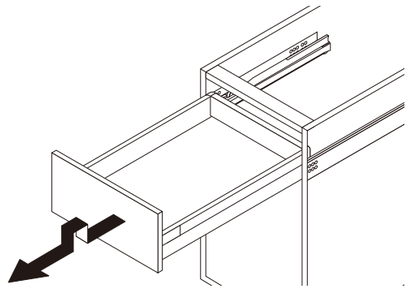
① レールを奥まで押し込んでください。
②引出しをレールに載せてください。
③引出しを奥まで押し込んでください。
（「カチッ」と音がしてロックされます。）





■引出しの取り外し

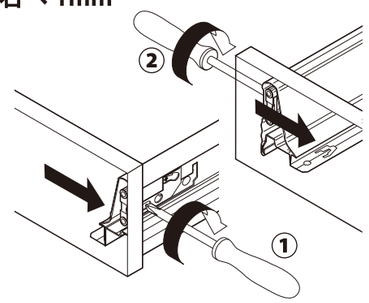
①引出しを完全に引き出してください。
②引出しの手前を斜めにもちあげるとレールから引出しがはずれ、さらに手前に引くと取り出すことができます。



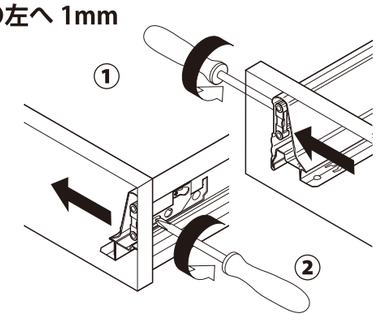
■引出しの調整

左右調整

●右へ 1mm

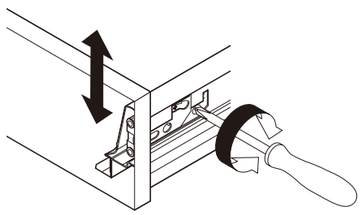


●左へ 1mm

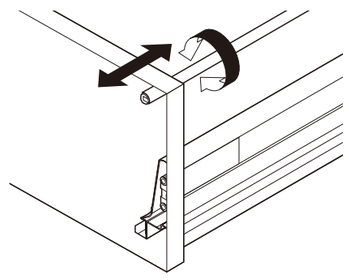


上下調整

●±2mm



傾き調整

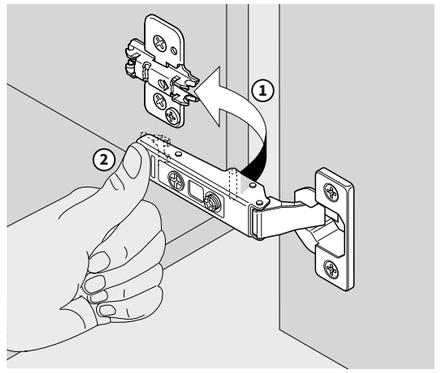


⚠注 意 引出しが正しく取り付けられていないと、引出しが落下してケガをする恐れがあります。
上記の注意事項を確認して，確実に取り付けてください。

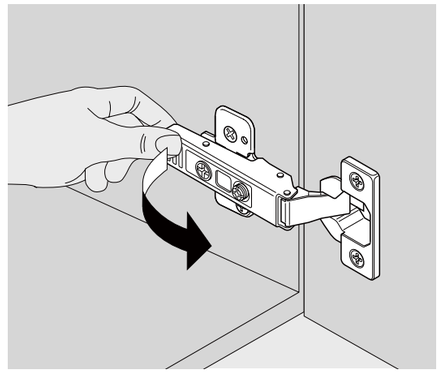
取り付け後、数回出し入れを繰り返して、引出しが簡単に外れないか確認してください。

開き扉の取り付け・取り外し・調整

■開き扉の取り付け

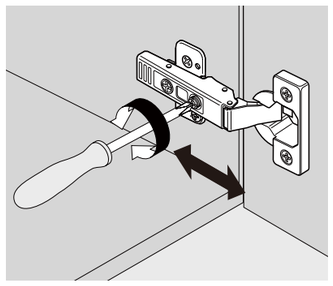


■開き扉の取り外し

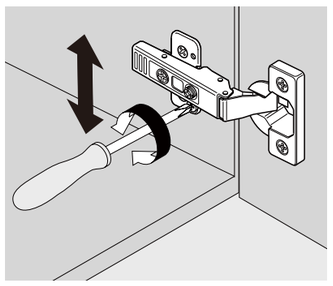


■開き扉の調整

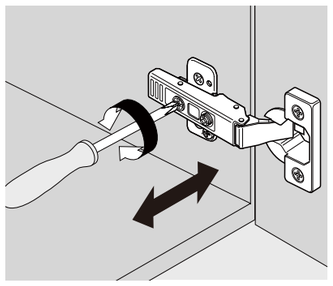
左右調整



上下調整



奥行き調整



⚠注 意 扉が正しく取り付けられていないと、扉が落下してケガをする恐れがあります。
上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

取り付け後、数回開閉を繰り返して、扉が正常に作動することを確認してください。

取り付け後の確認【清掃・点検】

清　掃　取り付けが完了しましたら清掃をおこなってください。

⚠注　意

シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。
変色の原因になります。

洗浄剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬品を使用する際は容器等に記載の注意事項に従いご使用ください。
使用方法を誤ると変色、変形、劣化の原因になります。

ワークトップに作業で出た鉄粉、鉄くず、砂などが落ちている場合は、必ず水で荒い流してください。
付着した箇所がもらい錆の原因になります。

点　検　下記の表に従い、仕上がりの点検をしてください。

キャビネット	キズ・汚れ・残材がない。
	壁面と固定されている。
	扉・引出しに傾き・ガタつきがない。
	扉・引出しが調整されている。
	ソフトクロージング機能が正常に作動する。
	ヒンジカバー、引出しサイドキャップが取り付けられている。
ワークトップ	キズ・汚れ・残材がない。
	ワークトップとキャビネットとが連結されている。 ワークトップが水平になっている。
養　　生	養生されている。 製品の梱包材等を利用して，引き渡しまでキズがつかないよう養生してください。